

目標達成計画

作成日: 平成 25年 4月18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1-(1)	事業所独自のサービスの在り方や理念が明確でない為、ケアの方向性や運営の在り方は、職員によってバラつきが生じている。	理念を設け、個々の職員が意識できるようにすることで、ケアの統一性を図る。	法人の理念に基づき、ホーム独自の理念や目標を設定していく。会議を通じ、その目標達成のためには具体的にどのようなケアが必要なのかを話し合う。	3ヶ月
2	35-(13)	年に2回の避難訓練を行っており、その都度近隣の皆さんに声掛けを行っているが、訓練の参加には至っていない。	訓練の参加をして頂けるようにする。また、特に夜間の避難時には近隣住民との協力体制作りは欠かせないので、住民からの協力だけではなく、ホームからも協力体制を発信していくようにする。	引き続き、訓練時に声掛けを行っていく。また、運営推進会議などでは、ご近所の参加も呼び掛けるようにしていく。まずは、ホームがどのような場所であり、どのような生活を送っているのかを知って頂く必要がある。	6ヶ月
3	26-(10)	モニタリングが頻回ではない為、利用者個々に応じたケアの統一性が出来ていない。	状況に応じたモニタリングを頻回に行い、利用者のニーズを的確に把握していくことで、個別ケアの充実化を図る。	3ヶ月に一度、もしくは状態の変化に応じたモニタリングを行っていく。ケアプランの見直しは6か月に一度であるが、モニタリングの結果によっては随時見直しを行っていく。	6ヶ月
4	2-(2)	回覧板を回したり、地域の行事に参加したりなどの交流は進めているが、地域の一住民としての立場は確立できていない。	地域で暮らしている存在として、より一層地域に溶け込むことができる。	回覧板などを通じて、ホームの生活の様子を地域の皆さんにも認識して頂けるような工夫を行う。また、ホームでのイベントにも地域の皆さんを招待するなどし、交流を深めていく。	6ヶ月

5	4-(3)	民生委員、市の職員、区長代理に参加して頂き、ホームの行事報告などを行っている。	メンバーの拡充を図るようにする。また、こちらの情報をお伝えするだけでなく、参加者からも活発な意見やアドバイスをいただけるような会議進行を行う。	ご家族や利用者にも、会議の参加が出来るような機会を設けることで、メンバーの拡充を図るとともに、ニーズに即したホームに近づける様な有意義な会議を行うようにする。	6ヶ月
---	-------	---	---	---	-----

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。